



特集

川島八幡団地 財団住宅祭

昭和56年4月11日(土)～30日(木)

「財団住宅祭」と銘うった首都圏初の川島八幡団地住宅祭は、4月11日から20日間、県住宅供給公社の川島八幡団地でひらかれた。初めて開かれる財団住宅祭への関心と首都圏における住宅需要の濃さを反映してか、初日から多数の見学者が来場し、各モデル住宅に入って熱心に比較検討していた。

住宅・街並み展示のほか、住宅セミナーと建築現場見学会、建築・金融・税務相談会、また日曜日には郷土芸能大会、造園業協会による園芸相談と植木市、農協による農産物展示即売会などもひらかれた。

20日間の来場者数は、資料をさし上げた数だけでも2310組、総入場者数は7000を超えたものと見られる。